

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム かすがの杜

目標達成計画書

作成日: 平成 26 年 09 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域とのつきあい	地域密着型グループホームとして、地域住民や家族と交流を活発に行い、高齢者家族が抱える様々な問題を解決するための、相談窓口を設け、何でも話し合える環境をつくり、相互信頼が出来るように取り組んでいく。	利用者と職員が地域の行事や活動に積極的に参加し、地域住民と親しくなり、ホームの行事にも地域の方や家族に参加して貰い、介護事業所の地域の拠点として活動し、相互協力関係を構築していく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は2ヶ月毎に開催しているが、参加者が少なく、報告会で終わっているため、参加委員を増員し、活発な意見交換の場として、ホームの運営や業務改善に反映させていく。	色々な分野から参加者を募り、グループホームが、地域の中で福祉事業の拠点として、活動出来るように、参加委員と協働で取り組み、参加委員一人ひとりが会議に出席することで、知識を広め、有意義な会議になるように取り組んでいく。	12ヶ月
3	51	日常的な外出の支援	戸外に出掛け、利用者が自然の風に触れ、季節を五感で感じ取り、利用者の気分転換に繋げることが、大切な事を職員が理解し、勤務体制を見直し、出来る外出の支援から取り組んでいく。	職員の頑張りや、やる気に期待し、利用者の外出の支援に取り組む、利用者の行きたいところや、食べたい物、会いたい人等のための、外出支援に取り組んでいく。また、ボランティアや家族の協力を得て、生きがいに繋がる外出を目指していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。